名古屋名駅ロータリークラブ
2017-18 年度
WEEKLY REPORT
Rotary Club of Nagoya Meieki
クラブ会長方針「エンジョイロータリー」
スローガン「奉仕の心を育てよう」
名古屋名駅ロータリークラブ　会　長：小室　健次郎
承　認：1991 年 4 月 17 日　副 会 長：西川　達郎
例会日：水曜日 12：30～　幹　事：長澤　正志
例会場：名鉄ニューグランドホテル　クラブ会報：坪井　義之
国際ロータリーのテーマ
ROTARY: MAKING A DIFFERENCE
ロータリー：変化をもたらす
2017-18 年度 R.I. 会長
イアン H.S. ライズリー
● 名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808　FAX.052-453-0800　E-mail：meiekirc@f5.dion.ne.jp　http://www.nagoya-meiekirc.com

第1247回例会
（和　食）

外部卓話例会
外国人が見た江戸時代の名古屋。

2018年２月14日㈬
（平成30年）曇 No.27

☐ 司会　前田　要 会場運営委員
☐ ロータリーソング　「われらの生業」
☐ ゲスト･ビジター紹介
　ゲスト　名古屋女子大学文学部　林 和利教授
　ビジター１名　司法修習生　乗田明彦さん

☐ 出席報告　**会員総数86名**（免除者17名）
　義務者出席47名　免除者出席12名　総数59名
　出席率72.84%

会長あいさつ

小室健次郎会長

この後、卓話を頂く林 和利先生のご紹介をさせて頂きます。

林先生は1952年のお生まれで、早稲田大学大学院文学研究科博士前期課程を修了。専門は狂言、能の研究です。主な著書に『人間国宝 野村万作の世界』『なごやと能･狂言』などがあります。

今日は、林先生の数多くの著書の中から、『古今東西ニッポン見聞録』をお持ち頂きました。受付にありますが、15冊しかありませんので、皆さんお早めにお求め下さい。内容については、この後、林先生にお話を頂きます。宜しくお願いします。

☐幹事報告　長澤正志幹事

⑴今後のスケジュールです。
①来週２月21日㈬は、西名古屋分区ＩＭ（インターシティ･ミーティング）が行われ、当クラブは全員登録による例会変更です。
名古屋マリオットアソシアホテル16階（受付16：00～）
本会議16：30～18：30……出席66名
懇親会18：30～20：30……出席62名
本会議では４件の奉仕活動事例が紹介され、当クラブからは「バングラデシュの多目的サイクロン･シェルター建設」（国際共同事業）の難産プロジェクトを藤井直前会長から報告頂きます。
②２月28日㈬の例会後に、理事会を開催。
③台北建成ＲＣ10名の来名スケジュールが決定。
３月26日㈪　関西空港着
３月27日㈫　夜に歓迎会……現在、ご案内中
３月28日㈬　姉妹クラブ継続締結式を開催
同日、セントレアから帰航

⑵コール･カメリアと名古屋西高校合唱部との第７回ジョイント慰問コンサートが、なごやかハウス名西で２月10日㈯に開催されました。この様子は中日新聞にも掲載されました。掲示板に写真と一緒に貼ってありますのでご覧下さい。

⑶会員名簿修正シール（４名）をポストに入れました。

☐委員会報告：会員増強に関する活動・お願い

会員組織委員会　中村　修（会員増強担当）副委員長

会員組織委員会が２月２日、小室会長はじめ11名の参加者で涵梅舫にて開催されました。内容は、今年度の会員数の推移、職種別内訳等の現状報告、後期の入会・退会の見込み検討、目標達成に向けた今

２月は平和と紛争予防／紛争解決月間です

< 例会開催予定 >

◇第1248回 ２月21日㈬ 例会変更
11：30-12：30　ビジター受付
西名古屋分区ＩＭ（ホスト：名古屋東南ＲＣ）
登録受付16：00　本会議16：30　懇親会18：30
名古屋マリオットアソシアホテル16階 タワーズボールルーム

◇第1249回 ２月28日㈬ 通常例会（ビーフカレー）
外部卓話　名古屋大学大学院医学系研究科 小児科 高橋義行教授
【例会後】第８回理事会

後の活動および依頼事項の確認等です。
その中で話し合われた会員増強に関する活動の申し合わせと、皆様へのお願いをご報告します。
①新入会員の勧誘活動を強化する。（一般会員の皆様も入会の勧誘をお願いします。特に、女性および40歳未満の方の勧誘にご協力下さい）。
②4月・6月末は企業会員の異動・退任による退会が想定されるため、情報収集と迅速な対応を働きかける。（異動・退任の際は、速やかな情報提供と、迅速な後任決定・入会手続きをお願いします）。
③会員増強のためにも、日常活動においてロータリー活動を充実させる。
これらに向け、皆様のご協力をお願いします。

□「ロータリーの友」2月号の紹介
クラブ情報委員会　岩井孝真委員

今月号の横組み15頁には、「戦争に立ち向かうロータリアンが主人公の映画」という記事があります。ナチスの迫害からユダヤ人の子供を守った、ロータリアンでもあったニコラス・ウィントンの生涯を追ったドキュメント映画の感想が書かれています。
その他、22頁のカンボジアにおける狂犬病の話、縦組み16頁のロータリアン同士のご子息・ご息女の結婚の話などを注目して読んで下さい。

□同好会報告：『名古屋再開発推進フォーラムセミナー』へのご招待
フォーラム21　清水順二同好会代表世話人

来月2日㈮18時から、野村證券名古屋駅前支店ホール（ミッドランド3階）にて『名古屋再開発推進フォーラム第2回セミナー』が開催されます。内容は、基調講演と2つのセミナーですが、2つ目のセミナーはなんと私どもの会員の千田さんが講師を務めます。聴講料無料。お申込みは22日㈭までに私にお願いします。フォーラム終了後に交流会（参加費別途）も開かれます。是非多数ご参加下さい。

外部卓話

「外国人が見た江戸時代の名古屋」
名古屋女子大学文学部
林 和利 教授

私の専門は狂言ですが、もともとの関心は日本人や日本文化でした。高校生の頃から、外国人が日本人や日本文化をどう見ていたかという文献を読みあさっており、それらをまとめて1冊にしたのが『古今東西ニッポン見聞録』（風媒社）です。古くは魏志倭人伝から一番新しいドナルド・キーン先生まで、21人の外国人が記した日本見聞録を紹介しています。日本人ならば当たり前すぎて書き留めなかったことを、外国人は大変感動して書き留めてくれています。そんなことをご紹介したくて、この本を書きました。
外国人による評価は毀誉褒貶ありますが、概ね褒めてくれております。理解力にすぐれている、学習能力が高い、正直である、親切である、礼儀正しい、清潔である、辛抱強い、勤勉である、美的感覚にすぐれている、優雅である、美しい国だ、立ち居振る舞いも美しい、など多くの外国人が口を揃えて評価しています。我々は日本人の古き良き美徳、美点を思い出す必要があるのではないでしょうか。
今日はその中から、江戸時代に名古屋にやってきたケンペルとシーボルトを取り上げてご紹介します。2人ともドイツ人の医者・博物学者でした。
ケンペルは1690年（元禄3年）から約2年間、長崎の出島に滞在しました。オランダの商館長に付いて2回江戸に来ており、徳川綱吉にも謁見しています。その長崎・江戸の往復紀行を細かく記述したのが『日本誌』です。その途中、名古屋を通りますが、熱田・宮の宿はこう描写されています。「宮の町には囲壁がなく、ただ出入口に粗末な堀割があるだけである。……宮の周辺の土地は平坦で地味も肥え、よく耕されている。われわれは、町の中で四年前に建てられた小さな熱田の社に出かけた。三剣を祀る神社で入口には紅い色を塗った二つの門の扉があった」。この『日本誌』はヨーロッパで大変評判になりました。ゲーテやカントも読んだと言われ、19世紀後半のジャポニズムにつながりました。
シーボルトが日本に来たのは1823年（文政6年）、ケンペルの135年後です。長崎郊外に鳴滝塾を開設し、西洋医学を日本人に教えました。その中には名古屋の人もおりました。シーボルトの『江戸参府紀行』は、1826年（文政9年）、オランダ商館長の江戸参府に随行した時の記録です。道中の見聞のみならず、経路の地理・植生・気候なども学問的に調査して記されています。その途中、名古屋に寄った時の記述です。「日本の友人や以前の門人が訪ねて来た……（水谷）助六は植物学の偉大な友であって、あらゆる部門にわたる収集物を持って来た……この立派な人と親交を結んだおかげで、日本の植物群に対する私の知識は著しく増大したのである」。
このように、名古屋の植物学者はシーボルトの日本研究に大きく貢献しました。水谷助六に学んだ伊藤圭介もその1人です。伊藤は後にリンネの植物分類法を日本で初めて紹介し、おしべ、めしべ、花粉などの術語を作りました。我が国の理学博士第1号です。鶴舞図書館の玄関前には伊藤の像があります。

ニコボックス

○林 和利名古屋女子大教授の卓話を楽しみにしています。（小室健次郎さん）
○林名古屋女子大教授の卓話を楽しみにしています。（米坂みよ古さん）
○林先生のお話、楽しみです。（西川達郎さん）
○今年のバレンタインデーも家族と職場の2つでした。（長澤正志さん）
○①久しぶりの外部卓話が楽しみです。プログラム委員会の皆さん、ご苦労様。②花粉症、また始まりました。（神野重行さん）
○2月10日、なごやかハウス名西での西高等学校女生徒とのコール・カメリア合同慰問コンサートは大成功に終わりました。皆さんの協力、ありがとうございました。（大橋昭治さん）
○中日・松坂、直球一筋で頑張れ！！（深澤良介さん）
○コール・カメリアの慰問コンサートに参加させて頂きました。貴重な体験でした。（前田　要さん）
○寺西さんの新邸でのおもてなし、ありがとうございます。本日、フォーラム21の同好会報告を致します。（清水順二さん）
また、コーヒー代として2名、その他1名よりご協力頂きました。